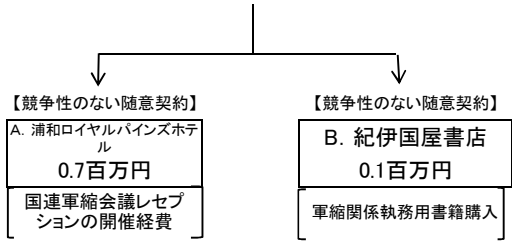


平成23年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	国際連合等への協力費		担当部局庁	軍服不拡散・科学部			作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度			担当課室	軍備管理軍縮課			課長 吉田 謙介		
会計区分	一般会計		施策名	Ⅱ－2 軍備管理・軍縮・不拡散への取組					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項		関係する計画、通知等	－					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	1. CTBT(包括的核実験禁止条約)機関準備委員会PTS(暫定技術事務局)関係者の松代地震学的監視観測所の視察:我が国のCTBT検証制度への技術的貢献を国際社会にアピールし、また、途上国から視察者を受け入れることで、当該途上国の国内検証制度の構築に貢献。 2. 本邦で開催される国連軍縮会議への参加及び同レセプション開催経費:我が国政府関係者の参加により我が国の軍縮政策をアピールするとともに、レセプションの開催によりこれらの関係者との人脈を構築を行う。 3. 軍縮関係刊行物の購入経費:各種軍縮問題の調査・研究等を行うための軍縮関係刊行物を購入する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	1. CTBT・PTS関係者の松代地震学的監視観測所への視察:PTS関係者や、途上国のCTBT責任者が訪日する際に、松代地震学的監視観測所を視察する日程を組み、当省職員が右視察に同行する。 2. 本邦で開催される国連軍縮会議への参加及び同レセプション開催経費:我が国政府関係者が会議にスピーカー等としての参加及び円滑な会議運営の協力にあたり、地元自治体との共催によりレセプションを開催する。 3. 軍縮関係刊行物の購入経費:業務の執行に必要な文献を購入する。								
実施方法	■直接実施 □業務委託等 □補助 □貸付 □その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	1	1	1	1	1		
		補正予算	－	－	－	－	－		
		繰越し等	－	－	－	－	－		
		計	1	1	1	1	1		
	執行額		0.8	0.7	0.8				
	執行率(%)		73.4	72.2	76.4				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	(国連軍縮会議関連) 一般市民に対して開かれた形で軍縮・不拡散に関する国際水準の議論を行う本件会議に、我が国政府関係者が出席し、議論に参加することで、我が国の軍縮・不拡散外交に対する市民社会の理解の深化に貢献。また、本件会議で国内外に対して「核兵器のない世界」の実現に向けた我が国の意思を発信したことで、その後9月にNYで我が国が豪州と共催した軍縮・不拡散に関する外相会合に繋がった。			成果実績		51.8	42.1	46.6	
	内閣府実施の外交に関する世論調査結果(「日本の果たすべき役割」についての回答):「軍縮・不拡散等に係る取組を通じた国際平和の維持への貢献」の回答割合(右記の通り。)			達成度	%				
	(CTBT関連施設視察等) グローバル地震観測研修を実施し、途上国参加者に研修・視察の機会を与え、途上国の国内運用体制構築に貢献した。								
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	国連軍縮会議に当省軍科部から3人参加。レセプション参加者は88人(国連軍縮会議招待者42人、レセプションのみの参加者33人、事務局他13人)であった。 CTBTのグローバル地震観測研修には、当省軍縮課から1名参加、途上国から10名が参加した。			活動実績 (当初見込み)	人	調査中	調査中	約90 100	－ ()
単位当たりコスト	(円／)			算出根拠	成果実績及び活動実績の双方が定量的に示せない。				
平成23年度(単位:千円)予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	会議費等	804	614	事業見直しによる等減					
	職員旅費	194	191						
	委員等旅費	76	77						
	計	1,074	882						

事業所管部局による点検			
	評価	項 目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	(1)CTBT・PTS関係者の松代地震学的監視観測所への視察:PTS関係者の場合には、視察後も、ウィーン代表部を通じた日常的な接点や、準備委員会の会議の参加を通じて、その後のフォローアップを随時図れる体制となっているが、平成22年度は実施できなかった。 (2)本邦で開催される国連軍縮会議への参加及び同レセプション開催経費:実際の現地出張・参加により確認している。 我が国の政府関係者が出席し、我が国の軍縮政策に関しスピーチをすることにより、国際社会に対して我が国の立場を示すことができた。また、レセプションにおいては打ち解けた雰囲気の中、参加者同士の人脈形成や翌日以降の活発で率直な議論につながった。我が国の政府関係者が出席し、我が国の軍縮政策に関しスピーチをすることにより、国際社会に対して我が国の立場を示すことができた。また、レセプションにおいては打ち解けた雰囲気の中、参加者同士の人脈形成や翌日以降の活発で率直な議論につながった。 (3)軍縮関係定期刊行物の購入経費:当課への納品により確認している。		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	事業見直しによる等減		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減(事業見直しによる等減)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

外務省
1百万円
国連軍縮会議等関係経費



(注:レセプションを含む会議開催経費全体をさいたま市が入札を実施し、経費分担したもの。)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロック
ごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。使
途と費目の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	浦和ロイヤルパインズホテル	レセプション開催経費	0.7		
2					

B

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	紀伊国屋書店	図書購入経費	0.1		
2					